

Anniversary

10th

三種町誕生
10年のあゆみ

2006 - 2016



豊かな自然と大地の恵み、
心ふれあう協働のまち



三種町誕生から10周年
ここにある笑顔と夢を未来へ…



三種町 町民歌
〜輝く未来へ〜

作詞 星合節子
補作 三種町町民歌制定検討委員会
作曲 橋本祥路

1 三種の流 ななが 輝 かがや かせ

希望 きぼう をかざして 日 ひ が昇 のぼ る
ゆたかな自然 しぜん に 恵 めぐ まれて
力 ちから を合 あ わせ 蒔 ま く種 たね が
平和 へい と幸 さち の 花 はな 咲 さ ます
明日 あした を拓 ひら く 三種町 みたねちょう

2 みどり溢 あふ れる 房住山 ぼうじゆうざん

日本海 にほんかい から 吹 ふ く風 かぜ が
い い で湯 ゆ の里 さと に 夢 ゆめ はこぶ
歴史 れきし と伝 でん 統 とう 香 か りき き て
新 あら たな文化 ぶんか を 創 つく りゆ く く
未 み 来 らい へ伸 の び る 三種町 みたねちょう

三種町誕生 10周年記念誌

発行日 平成28年10月
発行 三種町

10th

10周年記念誌発刊にあたり



三種町長 三浦正隆

平成18年3月20日、琴丘町、山本町、八竜町の三町が合併し、三種町が誕生してから10年の歳月が経過しました。この10年間で振り返りますと、三種町の礎を築くべく町民の一体感の醸成、行政改革、財政の健全化等に取り組み、新しい町の歩みを着実に一歩ずつ進めてまいりました。

「三種町総合発展計画」を策定し、将来像として掲げた「豊かな自然と大地の恵み、心ふれあう協働のまち」の実現に向けて、上下水道事業などの生活環境整備、町民バスの運行による交通環境の整備、高度情報通信網の整備など諸般の課題に順次取り組みを進めてきたところであります。

教育の分野では、学校給食センターの建設、琴丘地区の3小学校の統合による琴丘小学校の誕生、町内小中学校の耐震補強改修工事などに着手し、児童生徒が安心して学習できる環境の整備を進めてまいりました。

また、平成19年秋田国体、平成26年国民文化祭あきた2014が成功裏に開催できたことは、町民の皆様のご協力のたまものであり、まさに協働の町づくりの成果のあらわれと実感しております。

現在町では、クアオルトによる健康推進の町づくりや、JGAPじゅんさいの推進による栽培技術向上と販路拡大による特産品の新たな展開を加速させており、住民と行政が互いに手を取り合いながら、より一層魅力的な町づくりを新しい発想とスピード感をもって図ろうとしております。

三種町誕生10年という節目を迎え、本記念誌によりまして、これまでの三種町のあゆみを振り返るとともに、皆様と共に輝く三種町の新たなページを作りあげていくことができますよう祈念し、記念誌発刊のご挨拶いたします。

三種町の由来

三種町は平成18年3月20日、琴丘町、山本町、八竜町の三町が合併して誕生しました。その名称は、旧三町を流れる三種川に由来します。

「長寿の種」「福祿の種」「楽の種」の三種の種を語源とする三種川は、旧琴丘町の房住山に源を発し、旧山本町を横断、旧八竜町の八郎湖に注ぎます。

この地域の大動脈として生活や農業などに深い関わり合いをもっています。

三種川のように一体感を持てるよう、知恵を出し合い活力あるまちづくりができるように、という願いが込められています。

町章



三色の輪が「豊かな自然と大地の恵み、心ふれあう協働のまち」を表現しています。

合併三町が知恵の輪のように融合し、発展してゆく三種町を象徴しています。

(平成18年3月20日制定)

三種町町民憲章

土笛の調流れる琴の湖。朝の陽に水面きらめくじゅんさいの花。創造の力は無限しおさいの砂。

わたしたちは、房住山に源を発する三種川でつながり、先人たちが築き上げてきた歴史、文化、絆を大切に、三種町民であることに誇りを持ち、知恵を出し合い、力を合わせ、希望あふれる町をつくるため、ここに町民憲章を定めます。

わたしたちには 緑豊かな山があります
わたしたちには 命をつなぐ川があります
わたしたちには 光り輝く海があります
わたしたちには 心身をいやすいで湯があります
わたしたちの三種町 ここに 笑顔と夢があります

(平成23年10月21日制定)



10周年の節目を町民全体でお祝いし、更なる一体感を育てていくためのシンボルとして、ロゴマークを制作しました。(平成27年9月1日制定)

- 若いひまわりをモチーフに、たくましく成長し続ける元気な三種町をイメージしました。
● 虹は人と人、心と心、ここにある笑顔、夢を未来へとつなぐ架け橋をイメージしました。
● 全体として、町章の緑・青・赤を基調として配色しました。

もくじ

町長あいさつ..... 2
三種町の由来・町章・町民憲章・町のシンボル... 3
10年のあゆみ 4
夏を彩る三種のまつり (サンドクラフト・森岳温泉夏まつり)..... 14
三種三十六景 フォトコンテスト 16
行政・議会のあゆみ..... 18
データでみる三種町..... 19

三種町の花・木・鳥

(平成22年3月1日制定)



町の花 桜



町の木 杉



町の鳥 白鳥

秋田わか杉国体・わか杉大会を開催



森岳じゅんさい鍋のお披露目

主な出来事

- 平成19年
 9月30日 秋田わか杉国体バスケットボール競技を開催
 10月14日 秋田わか杉大会バレーボール競技を開催
- 平成20年
 2月 森岳じゅんさい鍋お披露目
 3月7日 三種町消防団「特別表彰まとい」を受賞
 3月 三種町総合計画（基本構想・前期基本計画）を策定

平成
19年度

2007.4 ▶▶▶ 2008.3

9月30日から10月3日までの4日間、第62回国民体育大会（秋田わか杉国体）バスケットボール競技が開催され、琴丘総合体育館では成年男子が、山本体育館と山本中学校体育館では少年女子の競技が行われ、それぞれ16チームが出場し、全国一を目指して熱戦を繰り広げました。

秋田県チームは地域住民の熱い声援を背に奮闘し、成年男子が3位、少年女子が準々決勝進出と大健闘しました。

続く10月14日から15日の2日間、秋田わか杉大会バレーボール競技が行われ、秋田県チームの活躍に、会場は温かい感動に包まれました。

秋田わか杉大会（10月14日～15日）



三種町消防団「特別表彰まとい」受賞（3月7日）
 全国の消防団にとって最高の荣誉である「特別表彰まとい」を受賞しました。

平成18年3月20日 三種町誕生



平成
18年度

2006.3 ▶▶▶ 2007.3

3月20日、琴丘町、山本町、八竜町の三町が合併し、人口2万438人（平成17年国勢調査速報値）の「三種町（みたねちょう）」が誕生しました。

町名の由来となった三種川が町のほぼ中央を流れ、かねてより「山本郡南部三町」として親交の深かったこの地域が、「三町の歴史・文化・産業を受け継ぎ、新たな第一歩を踏み出しました。」



三種町合併記念式典・第1回三種町町民祭開催（10月27日～29日）



第1回臨時議会（3月28日）
 三種町条例議案等205件を審議。初代議長に牧野定信氏を選出。

主な出来事

- 平成18年
 3月20日 三種町誕生
 3月28日 第1回臨時議会
 4月1日 広報みたね第1号発行
 10月27日 三種町合併記念式典・第1回三種町町民祭（～29日）
- 平成19年
 1月4日 3地域合同による出初式



出初式（1月4日）

三種町学校給食センター完成



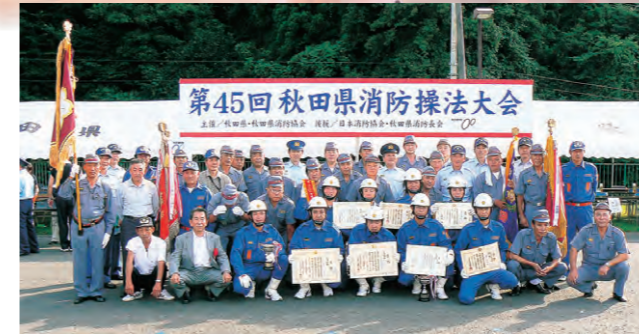
平成 21年度

2009.4 ▶▶▶ 2010.3

4月3日、三種町学校給食センターが完成しました。これまで使用されていた旧町3つの施設を統合し新たに建設されたもので、木造一部2階建ての施設は、「ドライシステム」を採用したほか、エアシャワーの設置など安全衛生面に配慮した施設となっています。

新センターでは1日約1500食が調理され、町内小中学校9校へ「安全で安心して食べられるおいしい給食」が届けられることになりました。

縄文ページェント「琴の湖」最後の上演



秋田県消防操法大会 (9月4日)
小型ポンプ操法の部で山本支団第4分団豊岡班が、ポンプ車操法の部で琴丘支団第1分団がそれぞれ優勝。豊岡班は秋田代表として全国大会に出場し優秀な成績をおさめました。

平成 20年度

2008.4 ▶▶▶ 2009.3

11月16日、第14回縄文ページェント「琴の湖(うみ)」が、琴丘総合体育館で上演されました。スタッフや出演者として参加した町民約600人が、多彩な演目を盛り込んで幻想的な舞台を披露し、集まった多くの観衆を魅了しました。

平成7年度に琴丘町誕生40周年記念として町民芸術による町おこしを目指して上演、平成15年に「ふるさとづくり賞内閣官房長官賞」を受賞するなど国内で高い評価を得たこのイベントは、大成功のうちに、その歴史に幕を閉じました。



琴丘小学校開校式 (4月6日)
鹿渡小学校、鯉川小学校、上岩川小学校の3校が統合し、琴丘小学校が開校しました。

ゆめろん入館者 300万人達成 (6月7日)
平成7年にオープンした「砂丘温泉ゆめろん」の入館者が300万人を達成しました。



第1回 三種ミュージカル上演 (11月22日)
八竜体育館を会場に「新釈 房住山物語」が上演され、会場からは感動の大きな拍手が鳴り止みませんでした。



みたねマラソン大会 (10月13日)
ことおか中央公園

巡回ラジオ体操 (8月15日)
三種町で初めてとなる巡回ラジオ体操・みんなの体操会が琴丘中央公園スカルパで開催。参加した1,200人が心地よい汗を流しました。



主な出来事

- 平成21年
4月3日 三種町学校給食センター完成
4月6日 琴丘小学校が開校
10月24日 三種町町民歌を制定

- 平成22年
3月1日 町の「花・木・鳥」を制定(桜・杉・白鳥)

主な出来事

- 平成20年
8月15日 巡回ラジオ体操を琴丘中央公園で開催
9月4日 秋田県消防操法大会で山本第4分団豊岡班(小型ポンプ)・琴丘第1分団(ポンプ車)が優勝
11月16日 第14回 縄文ページェント「琴の湖」上演



村人グランプリ受賞!
日本テレビの番組で近藤文雄さん(浜田)が村人グランプリを受賞、奥さんとともに番組スタッフよりトロフィーを授与されました。

橋本五郎文庫オープン



三種町子ども議会（7月6日）
町内小学校の児童が子ども議員になって町づくりなどについて、するどい質問を町当局に行いました。

主な出来事

- 平成23年
- 4月29日 橋本五郎文庫開設
- 10月21日 三種町町民憲章を制定
- 10月21日 合併5周年記念式典の開催
- 平成24年
- 3月 三種町総合計画（後期基本計画）を策定

平成23年度

2011.4 ▶▶▶ 2012.3

4月29日、みたね鯉川地区交流センター（旧鯉川小学校）で、「橋本五郎文庫開設記念式典」が行われました。

橋本五郎文庫は、鯉川地区出身で読売新聞東京本社特別編集員の橋本五郎さんから「地区の活性化に役立ててほしい」と約2万冊の蔵書が寄贈されたことがきっかけとなり、同センター運営委員会がボランティアを募り1年の準備を経て開設されました。



三種町合併5周年記念式典（10月21日）
山本ふるさと文化館を会場に「三種町合併5周年記念式典」が行われ約240人が出席。町内各小学校6年生の代表18人の群読により「町民憲章」の制定が宣言されました。



東京みたね会（11月3日）
東京上野精養軒にて東京みたね会総会が開催されました。この年から関東琴丘会も合流し、約300人が参加。だまもちがふるまわれ、懐かしい味を楽しんでいました。

町民バス（有償運送事業）スタート



地域住民一丸となって防災訓練（5月26日）
県民防災の日にあわせ、町内各地区で防災訓練を実施しました。



房住山浪慢うた街道オープン（4月29日）
旧上岩川小の「郷土かるた」の立て札を自転車で巡り、歴史や名所など上岩川の魅力が堪能できるコースが上岩川地域おこし協議会の皆さんによって作られました。

平成22年度

2010.4 ▶▶▶ 2011.3

4月1日、上岩川地域で町民バスの運行が始まり、平成21年から開始していた鯉川地域とあわせて2路線が運行となりました。

これにより、上岩川・鯉川地区の生活路線が確保され、住民の貴重な交通手段として活用されています。

みたねグルメ in 森岳温泉
(2月11・12日)
食の三種をPRしようと観光協会が主催。町内外からの出店に大盛況でした。



主な出来事

- 平成22年
- 4月1日 三種町全域が過疎地域に指定
- 町民バスを2路線（上岩川線・鯉川線）で運行開始
- 10月1日 平成22年国勢調査の実施（1万8,876人・6,294世帯）
- 平成23年
- 3月11日 東日本大震災が発生。三種町で震度5弱を観測



落合・勝平「ねぶ流し」（8月6日）
上岩川の落合・勝平地区に江戸時代から伝わる伝統行事です。ワラで作った「ねぶ」に火をつけ三種川に流し、無病息災、五穀豊稔を祈ります。

台風18号の被害



崩壊した町道（長面）



冠水した道路（鵜川）



琴丘地域拠点センター「じよもん」開所式（9月17日）
琴丘地域の総合支所と公民館機能を併せ持った施設として活用されています。

主な出来事

- 平成25年
- 4月8日 三浦隆司選手 WBCスーパーフェザー級世界チャンピオンに輝く
 - 6月2日 三浦隆司選手 三種町町民栄誉賞受賞
 - 6月3日 三浦隆司選手 秋田県県民栄誉章受章
 - 9月16日 台風18号による河川氾濫で下岩川・鵜川地区中心に豪雨被害
 - 9月17日 琴丘地域拠点センターが完成

平成25年度

2013.4 ▶▶▶ 2014.3

日本各地で猛威をふるった台風18号は、9月16日、三種町にも豪雨をもたらした。三種川および鵜川の増水・氾濫を招きました。

これにより、下岩川地区・鵜川地区を中心とした住家に床上浸水などの甚大な被害が出るとともに、刈り取り間際に迫っていた稲などの農産物に影響を及ぼしました。

また、主要地方道能代五城目線や多くの町道が冠水・崩落・崩壊・土砂崩れ等により通行止めとなったほか、停電が発生するなど、ライフラインに大きな支障をきたしました。



世界チャンピオン誕生（4月8日）
浜田出身の三浦隆司選手が東京・両国国技館でのWBCスーパーフェザー級タイトルマッチに勝利、新王者の誕生となりました。三浦選手は6月2日、三種町初となる町民栄誉賞を受賞、翌3日には秋田県県民栄誉章を受章しました。

世界を制した三浦選手の強烈な左は「ボンバーレフト」と命名され4度の防衛を果たし、町民にたくさんの夢と希望を与えています。

7月1日は「じゅんさいの日」



全国じゅんさい会議 inみたね（8月4日）



全日本ジュニア綱引
琴丘DSステップが初優勝（8月5日）
東京、駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で開催された、2012全日本ジュニア綱引選手権大会で琴丘スポーツ少年団綱引女子「琴丘DSステップ」が初優勝を飾りました。



SLあきた路号運行（10月18日）
森岳駅では園児達がお出迎えしました。

平成24年度

2012.4 ▶▶▶ 2013.3

三種町を代表する農産物「じゅんさい」を全国の皆さんに広く知ってもらおうと、8月4日に「第1回全国じゅんさい会議 inみたね」を山本ふるさと文化館で開催。翌年3月1日には、日本記念日協会より7月1日を「じゅんさいの日」とすることが認められました。

6月を表す英語「ジューン」とジュンサイの3、1で出来る上がる幻の6月31日を7月1日にあてはめました。



石井漢没後50年記念フォーラム（10月13日）
三種町出身で現代舞踊の先駆者、石井漢の没後50年記念フォーラムが、山本ふるさと文化館で開かれ、台湾の人間国宝、李彩娥舞団の踊りなどが披露され、会場は大きな感動に包まれていました。

主な出来事

- 平成24年
- 8月4日 第1回じゅんさい全国会議 inみたねの開催
 - 10月13日 石井漢没後50年記念フォーラム
- 平成25年
- 3月1日 じゅんさいの日（7月1日）の制定

大相撲三種場所



平成
27~28
年度

2015.4 ▶▶▶ 2016

平成27年8月18日、日本相撲協会夏巡業「大相撲三種場所」が琴丘総合体育館で開催されました。

平成17年に琴丘町で行われて以来10年ぶりの開催となった今場所には、約2000人の相撲ファンが来場し大賑わいとなりました。

人気力士と町内小学生とのちびっこ稽古も行われ、豪風や遠藤等の力士に全力でぶつかっていくも軽々と持ち上げられ、力士の強さを直に感じていました。



ゆうばる宿泊棟
リニューアルオープン
(平成27年4月1日)

じゅんさいやクアオルトの観光資源を生かしながら県内外からの集客と、小会議室等が新設され、町民にさらに利用しやすい施設を目指して生まれ変わりました。



釜谷集落防災訓練
(平成27年8月23日)

津波等の災害対策として6月、釜谷地区の高台に防災備蓄庫を設置し、8月には地域住民220人が参加して備蓄庫までの避難・防災訓練を行いました。

クアオルト健康ウォーキング「クアの道」認定
(平成28年6月26日)

町内2カ所4コースがクアオルト健康ウォーキングを実施する「クアの道」として日本クアオルト研究所より正式認定されました。



ゆめろん
グランドオープン
(平成28年7月30日)

6月9日に一部オープンしクアオルト浴室と露天風呂などを新設し営業開始しました。

7月30日には、グランドオープンとなり、2階クアオルト運動室、カラオケも出来るリフレッシュルームと多目的ホール等がオープンし町民の健康増進の中心施設として生まれかわりました。

カラオケも出来るリフレッシュルームと多目的ホール等がオープンし町民の健康増進の中心施設として生まれかわりました。

国民文化祭



森岳歌舞伎 (地歌舞伎の祭典 10月18日~19日)



キルトフェスティバル (10月4日~10日)



ボランティアによる「じゅんさい汁」のふるまい



北海道みたね会が発足 (11月16日)

札幌市で「北海道みたね会」の設立総会が行われました。

設立総会には43名が参加し、引き続き行われた懇親会では、ふるさとの思い出などで盛り上がり、同郷の絆を深めました。



世界じゅんさい摘み採り選手権大会 (7月6日)

三種町の夏の風物詩でもある「じゅんさい」の摘み採り。その早摘みを競う世界大会がはじめて開催されました。

毎年7月、「じゅんさいの日」にちなんで開催され、県外はもとより海外からも摘み採り自慢が集い、その技術とスピードを楽しく競い合います。



平成
26年度

2014.4 ▶▶▶ 2015.3

第29回国民文化祭が秋田県で開催されました。

10月4日から山本体育館を会場に開催されたキルトフェスティバルでは、「トップキルト」日本のキルト作家展」や一般からの応募作品151点によるコンクールなどが行われ、10日までの開催で約1万7千人の方が来場しました。

続く10月18、19日の2日間、山本体育館と農村歌舞伎会館を会場に「地歌舞伎の祭典」が開催されました。

森岳歌舞伎のほか、山形県の鮭川歌舞伎、山五十川歌舞伎、岩手県から黒沢尻歌舞伎を招いて行われ、集まった1700人の観衆を魅了しました。

主な出来事

- 平成27年
- 4月1日 森岳温泉ゆうばる宿泊棟をリニューアルオープン
 - 6月15日 農政庁舎の開庁
 - 8月18日 大相撲三種場所開催
 - 10月1日 平成27年国勢調査の実施(1万7,077人・6,008世帯)

- 平成28年
- 6月26日 クアオルト健康ウォーキング「クアの道」認定
 - 7月30日 ゆめろんグランドオープン
 - 10月15日 三種町誕生10周年記念式典

主な出来事

- 平成26年
- 7月6日 第1回世界じゅんさい摘み採り選手権大会を開催
 - 10月4日 国民文化祭「キルトフェスティバルinみたね」・「地歌舞伎の祭典」を開催
 - 11月16日 北海道みたね会が発足

夏を彩る三種のまつり

雄大な日本海を望む「日本の快水浴場100選」に選ばれている釜谷浜海水浴場を会場に、砂像アート作品の展示や、町の芸能・スポーツ・食をテーマにした楽しいイベントが満載。毎年夏に出現する巨大で精巧な砂の芸術は、訪れる人を魅了してやみません。環境の大切さを伝え、子ども達に夢を与える「地域に愛される力強いイベント」として定着し、今年で20周年を迎えました。

昭和30年に、森岳温泉の湧出を記念して始まった歴史あるイベントで、今年で62回目の開催となりました。惣三郎沼公園を会場に、「町の特産品「じゅんさい」を使った流しじゅんさいや、野外コンサート、屋台村などユニークな催し物が満載で、ファイナルの花火ショーでは、大輪のスターメインが夜空を彩る、三種の夏の最後を飾るイベントです。



三種三十六景 フォトコンテスト

三種三十六景フォトコンテストは、町の自然や景観、そして人情深い町民の姿を写真にとらえ、普段見逃してしまいがちな三種町の魅力を再発見できるようにするものです。
平成25年度より毎年9作品を選出して4年事業で完成する予定です。

最優秀賞



2014 「春の白神山地と白鳥の群れ」 石川 順
撮影地/三倉鼻公園



2013 「秋扇滝」 近藤 大樹
撮影地/房住山・扇滝



2015 「月と人と螢の灯り」 石川 順
撮影地/鯉川

優秀賞



2013 「夏の八郎湖」 児玉 政敏
撮影地/八郎湖畔



2014 「霧水の朝」 西村良司信
撮影地/三種川河口



2015 「琴丘稜線から望む」 近藤 大樹
撮影地/琴丘稜線

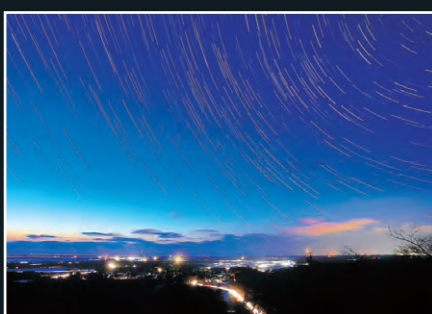
審査員特別賞



2013 「待ち人來ぬ」 安藤 賢相
撮影地/房住山



2014 「八郎湖の夕景」 児玉 政敏
撮影地/八郎湖畔



2015 「夕暮れ時の三種町」 藤田 真悦
撮影地/石倉山

2013 入選



「じゅんさい摘み」 佐々木利和
撮影地/志戸橋地区



「冬の釜谷浜海水浴場」 山田 康広
撮影地/釜谷浜



「どんど焼き」 相原 信孝
撮影地/浜田地区



「熱演」 安彦 融
撮影地/森岳地歌舞伎



「挑む」 小松 芳春
撮影地/釜谷浜
サンドクラフト



「輝く田園」 相原 進
撮影地/三倉鼻公園

2014 入選



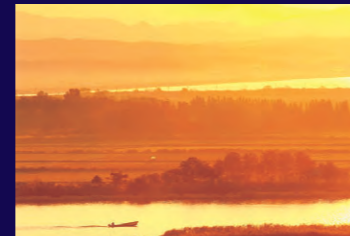
「静かな日」 吉田 博光
撮影地/横長根地区



「野外ステージと砂像」 米森 由丸
撮影地/釜谷浜・サンドクラフト



「子ども歌舞伎」 古川 重幸
撮影地/森岳子供歌舞伎



「1日の始まり」 及位 専蔵
撮影地/大口地区



「光の波」 安彦 融
撮影地/大口地区



「釜谷の夕日」 加賀谷春美
撮影地/釜谷浜

2015 入選



「群れ」 及位 専蔵
撮影地/釜谷浜



「トリプルの渦巻き」 児玉 政敏
撮影地/房住山・二段の滝



「朝霧漂う」 渡邊 昭道
撮影地/石倉山



「私の美術館」 金田 勇希
撮影地/釜谷浜・サンドクラフト



「房住山の秋」 渡辺 光男
撮影地/房住山

データでみる三種町

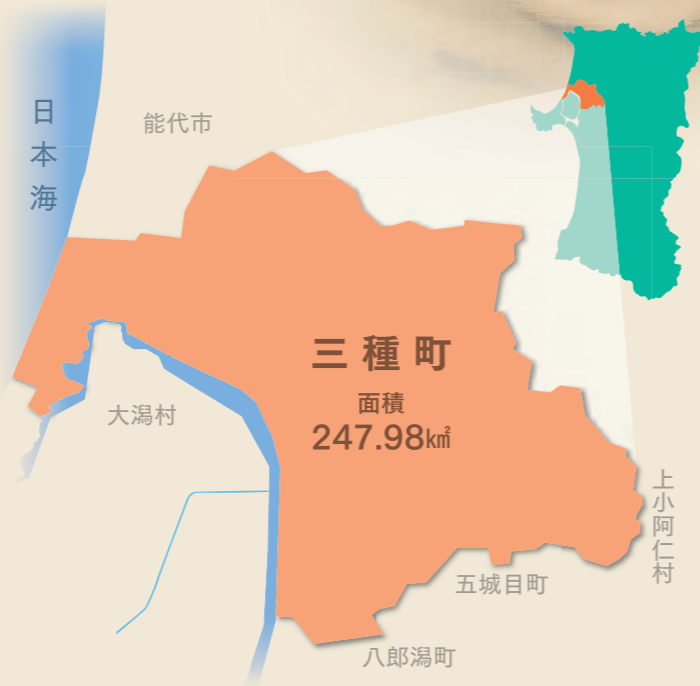
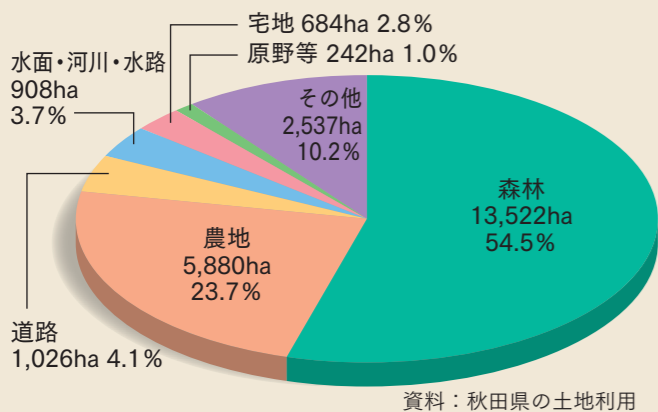
町の位置

東端	東経	140度	14分	43秒
西端	東経	139度	56分	44秒
南端	北緯	39度	58分	28秒
北端	北緯	40度	09分	26秒

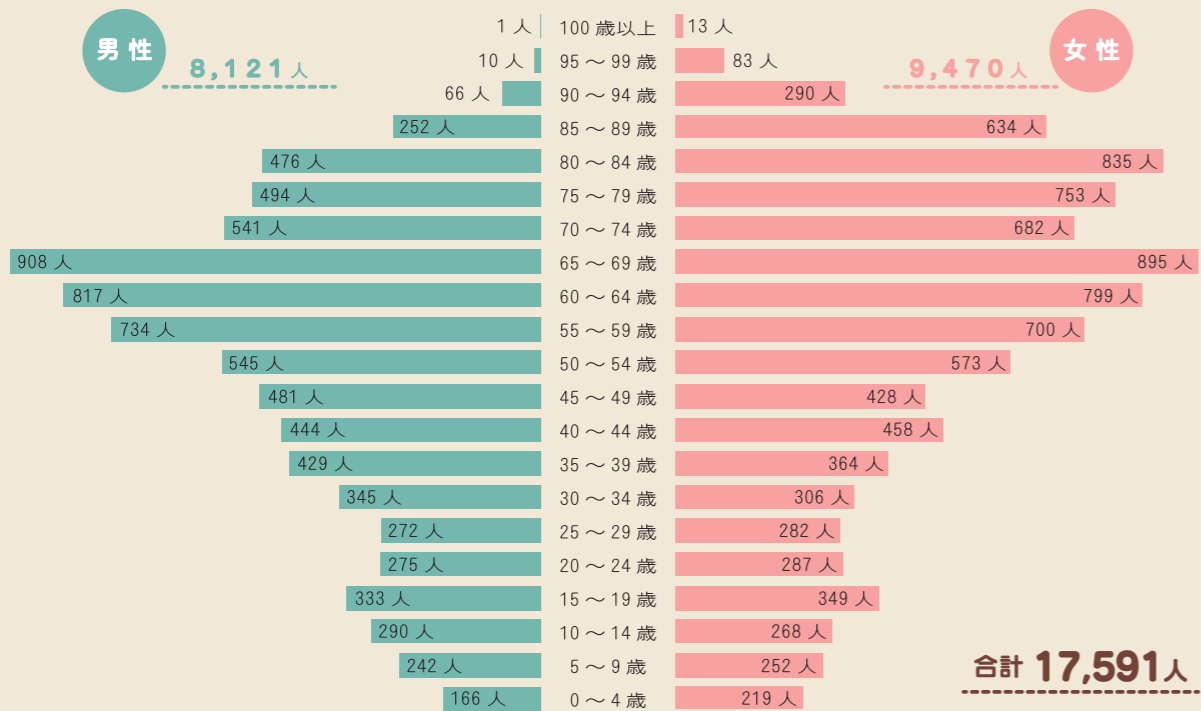
役場の位置

東経	140度	00分	18秒
北緯	40度	06分	06秒

土地利用区別面積



年齢別人口（平成28年4月末現在）



学校数（平成28年4月末現在）

保育園	幼稚園	小学校	中学校
7園 (※うち私立3園)	1園 (※うち私立1園)	6校	3校

小学校児童数（平成28年4月末現在）

児童数	男	女	学級数
602人	312人	290人	43

中学校生徒数（平成28年4月末現在）

生徒数	男	女	学級数
350人	172人	178人	16

行政・議会のあゆみ



町長 三浦 正隆

歴代町長

歴順	氏名	在任期間
初代	佐藤 亮一	平成18年4月23日～平成22年4月22日
第2代	三浦 正隆	平成22年5月16日～現任中



副町長 高堂 弘道

歴代助役・副町長

歴順	氏名	在任期間
初代	北林 敏明	平成18年8月1日～平成22年5月21日
第2代	山添 匠	平成22年10月1日～平成25年3月31日
第3代	高堂 弘道	平成25年4月5日～現任中



教育長 鎌田 義人

歴代教育長

歴順	氏名	在任期間
初代	大沢 郁夫	平成18年3月20日～平成18年6月14日
第2代	大塚 強	平成18年6月15日～平成22年6月14日
第3代	鎌田 義人	平成22年6月15日～現任中



議長 金子 芳継

歴代議長

歴順	氏名	在任期間
初代	牧野 定信	平成18年3月28日～平成18年6月30日
第2代	児玉 信長	平成18年7月11日～平成26年6月30日
第3代	金子 芳継	平成26年7月4日～現任中



副議長 加藤彦次郎

歴代副議長

歴順	氏名	在任期間
初代	平賀 真	平成18年3月28日～平成22年6月30日
第2代	袴田 隆	平成22年7月6日～平成26年6月30日
第3代	加藤彦次郎	平成26年7月4日～現任中



議会議員

